

登録コード:MH515104 開講年度:2026		授業科目区分	学科共通専門科目 必修
科目名	新入生ゼミナール（作業） Fresher's Seminar		
担当教員	寺田 信生 五十嵐 久人・松田 和之・青木 薫・百瀬 公人・杉山 暢宏		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	作業療法学専攻 1 年 前期 月曜・4 時限		
単位数、講義室	2 単位 保健学科 1 2 1 講義室 医学科第 2 実習室 保健学科 2 2 1 講義室 保健学科 2 2 2 講義室 医学科第 1 実習室		遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標
	MH20カリ・保健		
	保健・医療・福祉の現場において、専門職者として自己の責任を自覚し、チームの一員として協働活動に参加できる。	チーム医療における自己の専門性と他職種の専門性を理解し、協調的に協働活動を進めていくための要点について理解する。	
	MH25カリ・保健・看護、MH25カリ・保健・検査、MH25カリ・保健・理学、MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・看護、MH23カリ・保健・検査、MH23カリ・保健・理学、MH23カリ・保健・作業		
	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	医療専門職者として自律的に精進し続けることの基本的な意義を理解する。	
	MH25カリ・保健・看護、MH23カリ・保健・看護		
	対人関係形成・協働力 保健・医療・福祉の現場における対象者やその家族、チーム関係者とコミュニケーションをとりながら適切な関係を形成し、看護専門職者として協働的に役割を担うことができる。	対象者やその家族、医療チームの関係者などと協調的なコミュニケーションをとっていくための要点について理解する。	
	MH25カリ・保健・検査、MH25カリ・保健・理学、MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・検査、MH23カリ・保健・理学、MH23カリ・保健・作業		
対人関係形成・協働力 保健・医療・福祉の現場における対象者やその家族、チーム関係者とコミュニケーションをとりながら適切な関係を形成し、保健・医療専門職者として協働的に役割を担うことができる。	対象者やその家族、医療チームの関係者などと協調的なコミュニケーションをとっていくための要点について理解する。		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働、健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	第1回から第3回は、各専攻独自のプログラムによって、新入生に対するオリエンテーションや早期体験学習等を行います。 第4回から第15回は、お互いの専門領域や将来のチーム医療に関する理解を深めるために、医学科・保健学科の合同演習として、保健・医療・福祉に関連したテーマに関するグループワークを行います。グループワークは、約260名を40のグループに分け、「より良い保健・医療・福祉のあり方」という課題に基づいて、グループごとのテーマを設定し、それに関連する情報を集め、それらを題材として自分たちの意見を織り交ぜながら、現状の問題点と今後の課題について討論を行い、その結果を全グループがパワーポイントで発表します。 医学科・保健学科の合同演習は、医学科の第1実習室、第2実習室、保健学科の221講義室、222講義室等の講義室に分かれてグループワークを行います。 詳細については、別途配布する「履修学生の手引き」を参照してください。 本授業は、4年次に行われる「チーム医療演習」の前提となります。 本授業は、担当教員の医療機関における医療専門職者としての実務経験を生かして行われます。 本授業は、男女共同参画に関する内容を含んでいます。		
授業計画	第1回（4月13日）学科別・専攻別プログラム 第2回（4月20日）学科別・専攻別プログラム 第3回（4月27日）学科別・専攻別プログラム 合同授業開始前に、eALPSの新入生ゼミナールのコースに、「履修学生の手引き」をアップロードするので、Googleスライドの使い方も含めて、事前に内容をよく確認しておいてください。 第4回（5月 1日）：オリエンテーション、グループワーク グループテーマの討論 第5回（5月11日）：グループワーク グループテーマの討論 第6回（5月18日）：グループワーク グループテーマの構成要素の討論 第7回（5月25日）：グループワーク グループテーマの構成要素の討論 第8回（6月 1日）：グループワーク 構成要素別の少人数での討論 第9回（6月 8日）：グループワーク 全体発表会に向けてグループワークの成果物（パワーポイントファイル：スライド+ノート、発表時間7分）の作成 第10回（6月15日）：グループワーク 7分間の発表時間を厳守できるようパワーポイントファイルと発表原稿を完成させる。 第11回（6月22日）グループワーク成果物発表会 学生同士の相互評価 第12回（6月29日）グループワーク成果物発表会 学生同士の相互評価 第13回（7月 6日）合同授業の総括、グループワークの振り返り、授業アンケート 第14回（7月13日）予備日		

授業計画	第15回（7月27日）予備日
授業の進め方	医学科・保健学科の合同演習としてのグループワークでは、他者の意見、資料の内容等を考慮して、積極的に自分の意見を述べるとともに、グループとしてのまとまりを構築することができるよう協調的なコミュニケーションの取り方を意識していきましょう。 また、「より良い保健・医療・福祉」に関して、自身が関心をもったテーマについては、医学部図書館や文献データベースにおける学術論文、インターネット上の情報、新聞などから、自身が検索・収集し、その内容について端的にまとめたものをグループワークの中で発表し合うことによって、グループテーマやその構成要素を検討していくよう努力してください。 グループワークでは、「Googleスライド」で資料を共有しながら討論を進めていきますので、各自でノートパソコンを持参してください。 10グループごとに担当教員を1名配置しますが、担当教員の役割は、基本的に討論が行き詰まった時にのみ簡単な助言をすることであり、討論の牽引者ではないという点について理解しておいてください。
テキスト、教材、参考書	各自の情報収集とグループワークでの討論が基本となるため、教科書や参考書はありません。各自が考える「より良い保健・医療・福祉」に関する情報を、図書館や電子ジャーナル等から収集し、それらの内容を整理・統合して、グループディスカッションを展開していきましょう。
成績評価の方法	合同演習における自己学習レポート、グループワークの成果物の提出、グループワーク成果物に対する10グループ単位での学生同士の相互評価、グループワークの成果物に対する教員の評価に基づいて総合的に評価します。
成績評価の基準	1．自己学習資料（・・・）の提出（10点×3＝30点） 2．グループワークの成果物の提出（30点） 3．グループワーク成果物に対する10グループ単位での学生同士の相互評価 （1位：10点、2位：9点、3位：8点、4位：7点、5位：6点、6位：5点、7位4点、8位：3点、9位：2点、10位：1点） 4．グループワークの成果物に対する教員の評価 各発表ユニットの担当教員が、本演習の学習目標への到達度、発表内容の分かりやすさや議論の深さ、そして、独自性を基準として、各10グループに対して、評価点を付けます（0点～30点）。
事前事後学習の内容	【事前学習】 シラバスおよびオリエンテーションの内容を参考にして、事前に自身が興味を持った「より良い保健・医療・福祉」に関連する資料等を収集・整理し、グループ内で発表・討議できるよう準備を進めてください。 【事後学習】 グループワークにおいて疑問に感じた点や分からなかった点について、文献等を参照して整理して、各自で取りまとめていくようにしてください。 本授業の単位修得には90時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間（2時間×15回）＋自己学習時間60時間（4時間×15回）＝90時間
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	合同演習では、他者の意見、資料の内容等を考慮して、積極的に自分の意見を述べるとともに、グループとしてのまとまりを構築するよう協調的なグループワークに努めてください。 また、「より良い保健・医療・福祉」に関して自身が関心をもったテーマについては、医学部図書館や文献データベースにおける学術論文、インターネット上の情報、新聞などから、自身が検索・収集し、その内容について端的にまとめたものをグループワークの中で発表し合うことによって、グループテーマやその構成要素を検討していくよう努力してください。 なお、時間内に終わらなかった場合、適宜グループで集まって作業するように取り組んでいきましょう。 担当教員の役割は、基本的に討論が行き詰まった時にのみ簡単な助言をすることであり、討論の牽引者ではないという点について理解しておいてください。 質問、連絡、相談など： 医学教育研修センター 森淳一郎（内線：5821、jimori@shinshu-u.ac.jp） 保健学科 看護 五十嵐久人(higaras@shinshu-u.ac.jp) 検査 松田和之 (kmatsuda@shinshu-u.ac.jp) 理学 青木 薫 (kin29men@shinshu-u.ac.jp) 作業 寺田信生 (nobuot@shinshu-u.ac.jp) 杉山暢宏 (nsugi@shinshu-u.ac.jp)